



月刊ビジネスアイ
エネコ12月号より

環境大臣 **とまとだより** Vol.42 内閣府特命担当大臣(原子力防災)

衆議院議員

望月よしお

自民党静岡県第4選挙区支部長 衆議院議員 望月よしお
〒100-8901 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館1223号室 TEL.03-3508-7709/FAX.03-3508-3243

望月義夫 前自民党行政改革推進本部長が、平成26年9月3日、第二次安倍改造内閣において環境大臣・内閣府特命担当大臣(原子力防災)を拝命しました。望月大臣は、平成14年から1年間、環境大臣政務官を務めており、当時は我が国の環境問題、京都議定書発効などに奔走しました。今回の初入閣にあたって望月大臣は、安倍総理から「福島の復興無くして日本の再生無し。汚染された廃棄物の処理や除染をスピードアップしてしっかりと進めていただきたい。」と指示され、責任の重さを痛感しています。

東北を取り戻す!

環境大臣としての抱負



環境大臣として
幹部職員に初訓示

就任時の記者会見では「福島県の皆様方の気持ちを本当に心を賭して、思いを胸にして、除染の問題、中間貯蔵施設の問題、そして福島の復興、ひいては東北の復興に全力で取り組んで行きたい。また、環境(地球温暖化等)問題は我が国だけの問題ではなく、地球は次世代、またその次の世代にも受け継がなければならない。それを持続可能にするために、国民の皆さんにも理解していただけるように説明したいと思っている。」と語りました。

早速福島県に5回、栃木県に1回足を運び、知事・市町村長等に丁寧な説明を繰り返しています。



大臣認証式後の総理官邸での記念撮影



月刊ビジネスアイ エネコ12月号より

大臣室にてインタビューに答える望月大臣

望月よしお環境大臣、走る!



安倍首相と共に福島の実況を視察



アメリカの英雄元宇宙飛行士ポール・デレン NASA長官が大臣室を表敬



除染された田んぼで生産者の方と初の稲刈り(福島)



内堀福島県新知事からのご要請を受ける



新興津緑地公園完成式



三保の松原が世界遺産の構成資産となり
そくぎに文化庁長官と現



望月よしおプロフィール

昭和22年 静岡県清水市(現 静岡市清水区)生まれ
昭和50年 27歳で清水市議(現静岡市議)に初当選(以後4期)
平成 2年 44歳で静岡県議会議員に挑戦し当選(以後2期)
平成 8年 衆院選に初当選(現在6期目)
平成13年 初代外務大臣政務官に就任
平成14年 小泉改造内閣で環境大臣政務官に就任

平成18年 国土交通副大臣に就任
平成20年 衆議院国土交通委員長に就任
平成23年 自民党シャドウキャビネットの
国土交通大臣・国土交通部長に就任
平成24年 自由民主党行政改革推進本部長に就任
平成26年 環境大臣・内閣府特命担当大臣に就任

望月よしお事務所

■清水事務所

〒424-0806 静岡県静岡市清水区辻1-9-3
TEL.054-364-3471/FAX.054-367-4769

■富士宮事務所

〒418-0032 静岡県富士宮市浅間町6-7
TEL.0544-28-4515/FAX.0544-28-4516